



北海道発！

社員の英知を結集した 介護DXの実践



さくらCSホールディングス株式会社

さくらCSホールディングス株式会社 代表取締役兼CEO 中元 秀昭

- ・ 1970年6月16日 北海道札幌市生まれ
- ・ 高校卒業後、航空自衛隊に入隊。その後セコムに入社
- ・ 2002年、株式会社さくらコミュニティサービスを設立
- ・ 2011年 9月 『日本発KAIGOが世界を席巻する』を出版
- ・ 2017年 3月 小樽商科大学院卒業 MBA取得
- ・ 2018年 4月 小樽商科大学院 非常勤講師に就任
- ・ 2019年 7月 厚生労働省老人保健健康増進等事業 委員に就任
- ・ 2020年 1月 札幌商工会議所健康・福祉部会 役員に就任
- ・ 2020年 9月 全国介護事業者連盟北海道支部 副支部長に就任
- ・ 2021年 5月 北海道Society5.0推進会議委員に就任
- ・ 2021年 7月 小樽商科大学介護経営人材育成プログラム運営・評価委員会委員に就任
- ・ 2022年 5月 全国介護事業者連盟外国人材活用推進検討部会 部会長に就任
- ・ 2022年 7月 全国介護事業者連盟AIR介護（介護DX）推進検討部会 委員に就任
- ・ 2022年10月 小樽商科大学アントレプレナー副専攻 講師に就任



会社概要

人材サービス事業

- ・業界の人材不足に対処
- ・介護職のキャリア形成支援



海外事業

- ・ミャンマーで合弁企業を設立
- ・中国・シンガポール
ハワイ・ベトナムへ展開
- ・EU(フィンランド)に展開予定

介護サービス事業

- ・札幌市を中心に15事業所運営
- ・地域に根差したケア

教育研修事業

- ・修了生22,000名以上
- ・FC校の全国展開

子育て支援事業

- ・千歳/札幌(麻生)にてえーるびーす保育園 開園

ものづくり事業

- ・ITや人工知能を活用したソフト開発
- ・業務効率化と品質向上を目指す

社名：さくらCSホールディングス株式会社

設立：2002年9月9日

代表：中元 秀昭

グループ社員数：368名（7月1日現在）

グループ会社・関連法人

株式会社さくらコミュニティサービス

株式会社悠ライフ

Care Viewer株式会社

株式会社さくらフレンズ

合併会社 Polestar KAIGO Service

介護.net事業協同組合

NPO法人日本KAIGOサポートセンター

株式会社Sakura create

学校法人帯広堀学園

社会福祉法人 桜秀会

株式会社 靖乃屋

エイチスリー株式会社

国外グループ会社・関連法人

POLESTAR KAIGO SERVICE Co.,Ltd. (ミャンマー)

GLOBAL DOOR HUMAN SOLUTION CO., LTD.

(ベトナム)

SAKURA CS ASIA PTE. LTD. (シンガポール)

1

介護業界が 取り組むDX



1年間の
離職率は
14.3%

介護業界の課題

✓ 人手不足

2025年には約37.7万人
2040年には日本全国で
69万人もの介護職員が
不足すると予測される

✓ 利用者の経済的負担

人材不足や、自己負担額の
増加によって本来受けるべ
きサービスを受けることが
できないという状況が増え
ていく

✓ 介護の質の低下

従業員満足度が高い事業所
ほど、利用者満足度も高い
傾向がある。労働環境の改
善が介護の質の維持や向上
に大きな影響をもたらす

さらに、2022年 **電子帳簿保存法が改正。** 2024年 **BCP対策が義務化。**

業界全体として対策が必要となる

介護業界のDX化によるメリット

✓ 新たな時間の創出

間接業務をゼロ・直接業務は半減

✓ コミュニケーション強化

活動の可視化・チームケアの質向上

✓ コスト削減による利益UP

残業代・紙保管コストの削減





利用者

- ✔ サービス品質が向上され満足度向上
- ✔ 家族とのコミュニケーションが増え安心に繋がる
- ✔ リピート、口コミによる売上UP

お年寄りと関わる時間が増える

介護のグッドサイクル

職員

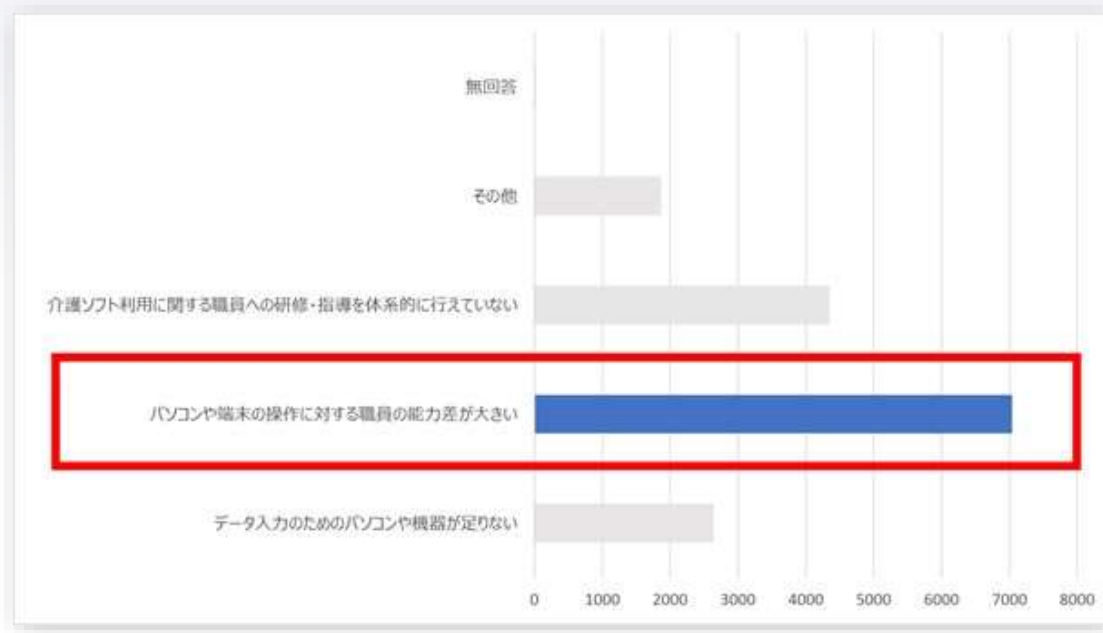
- ✔ 業務が効率化され残業・ストレス軽減
- ✔ 優秀な社員の定着。チームの連携強化
- ✔ 利用者との時間が増えケアの質が向上

事業所

- ✔ 社員への還元。福利厚生充実
- ✔ 教育制度の充実
- ✔ 残業代および紙の管理コスト削減

DXを推進することで、介護の生産性向上につながる

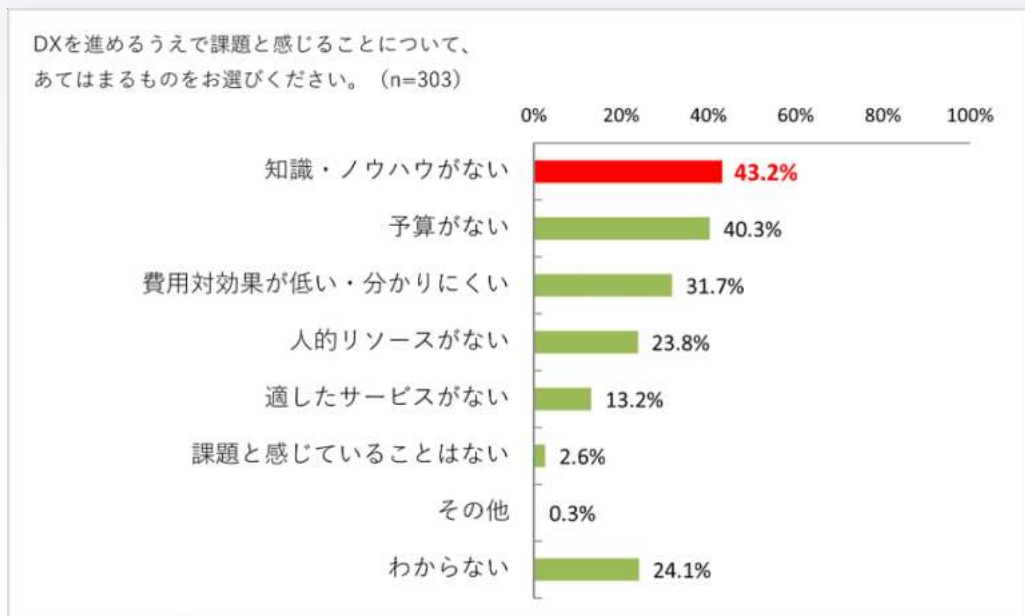
介護DX導入課題



令和2年 介護現場におけるICT環境の整備状況等に関する実態調査 | 厚生労働省

職員のITリテラシーの低さが、介護現場におけるDX化の最大の課題

介護DX導入課題



介護事業所におけるDX実態調査

知識、ノウハウを広めていく活動(教育・啓蒙)が必要

2

弊社の取組み

KAIGO's Next Challenge



AI・介護記録ソフト CareViewer

Care Viewer ケアビューアー とは



介護現場の従業員・顧客満足度向上
業績UPのワンプラットフォームです。



2020年 全国中小企業
クラウド実践大賞
総務大臣賞受賞



平成29年度
サービス競争力強化
支援事業採択

AI・介護記録ソフト CareViewer



ハンズフリー入力

ディスプレイに利用者様の情報を表示することが可能



年間**300**万円削減

加算等の申請が楽に！
紙の印刷や郵送費などの
経費削減に繋がります



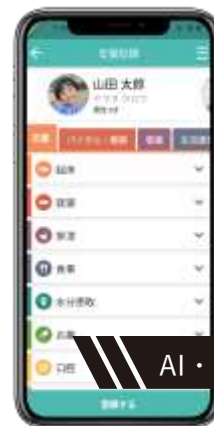
年間**4,500**時間削減

煩雑な作業が大幅に削減！
介護事故の予防。紛失リスクが
軽減。監査対策も万全です。



継続率**99**%

現場職員の声を取り入れながら
実証・改善を繰り返して開発。
現場が欲している機能が充実。



NEW

ケアビューアー
チャレンジ

Care Viewer
challenge

8月リリース予定！

AI・障がい福祉記録ソフト